

# Mランドニュース Vol. 96

## 丹波ささ山校 平成27年3月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569  
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

### 《今月の言葉》

「逆境によって人は進化する」  
人は順境の時には、工夫をしないので進化しない、むしろ退化する。逆境に遭うことにより、どうしたら解決ができるか、と知恵が出てきて進化することができる。「逆境もまたよし」です。 鍵山 秀三郎氏の教え  
タニサケ会長 松岡 浩著「大感謝」より抜粋

### 掃除に、人に学ぶ

毎月第四日曜日は、篠山中学校の運動場のトイレをお借りして便器を磨かせていただいております。

しかし、教職員が登校されておられなかった二月二十二日、この日は管理上トイレに施設がされており、午前七時に集まった一般参加者の三名とMランドからの二名で、トイレ前通路のはき掃除をさせていただくことになりました。

雲行きもいつ雨が降ってきてもおかしくない状態で、掃除開始と同時に小雨が降り始めました。濡れて重たくなった砂に悪戦苦闘、気持ちの中で「とりあえず通路を掃いて切り上げよう」と掃除をはき終わりに「やれやれ」と戻っていると、岸田兼尚様と中野インストラクターの二人がグラウンドを均す道具、いわゆる「トンボ」の置き場に長年溜まった砂をはき出しておられました。以前、「ここも何とかしたいですね」と言っていた私ですが、「雨が降る今日することではない」

と気にも留めませんでした。二人の姿は私の逃げ腰を言い当てているようで、見た瞬間「やられた！」と猛省。その後、冬の最中額に汗し五名の方を合わせた結果、見違えるようにきれいになりました。



小雨の中、それに励みます



重たい支柱もなんのその！！

普段、「掃除」、「掃除」と言っている自分のこの一番の

弱さを思い知らされました。また、気付かせていただいた方々に、お出会いするご縁をいただいたことは感謝というほかありません。



細かいところも見逃しません



自ら何をすべきか考えて行動

その中のお一人で参加されて丸三年、一度も欠席されなかつた刀禰亮介様は、めずらしくご用事で先月は欠席されました。京都市で行なわれた第三十二回視覚障

害者京都マラソン大会へ応援に参加されたためでした。「いかがでしたか？」という問いに、刀禰様は淡々とお話しくださいました。是非、皆さんと共有したいと思い、文章にさせていただきました。

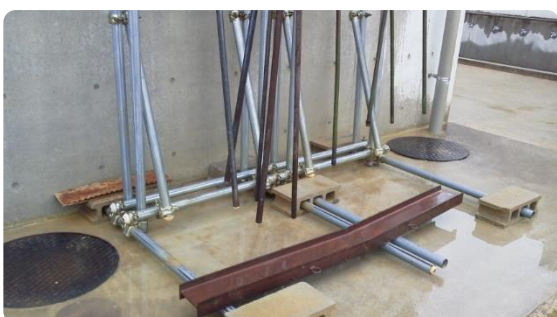
私がマラソンの応援に参加したいと思ったのは、「応援に参加して元気をもらわないか？」という知人のことばでした。参加する前の印象は「テレビで見たことがあるだけで、弱視や全盲の方々がどんなふうに見えるのだろうか？」ということぐらい。しかし、大きく印象が変わったのはランナーと伴走者のもともいふ笑顔を見たときでした。それに加え、浴道で応援される人々の声援の温かく力強かったことです。それをこの身で感じたとき、心も温かくなり「自分もがんばってみよう」と前向きになりました。

そんな中、聞こえてきたあるランナーのことばに心を奪われてしまいました。「みなさんの応援がなければ、ここまで走ることはできなかった。みなさんのおかげだ！」と言われたのです。自分もそれほど周りに感謝できて

いたのだろうか。周りの応援がなければここまで(二十七歳まで)来ることはできない大切なことに気付かされました。この経験から自分の視野も広がり、もっと感謝して誰かの役に立つ生き方をしようと思えました。本当に貴重な時間で声をかけてくださった知人に感謝します。

自分のちからで生きていくつもりになっていた、傲慢さを教えていただけたおはなしでした。

このように「掃除」という場を通して、自分のあり方を気づかされたり、人の生き方を学ぶことが多いことを知らされ、続けることの大切さを感じます。ありがとうございます。



みんなの力できれいになった「トンボ置き場」



## Mランドウォッチング

早朝から夜遅くまで多くのゲストでにぎやかなMランドです。大学のキャンパスとはいかないまでも、お揃いのMランドバックを携え、自分の教習カリキュラムに対し目的意識を持って行動されている姿を見ていると、インストラクターも魂のこもった応援をしなくてははいけません。



バックを携え、いざ教習へ

と、ここまでではどの教習所でも見る光景ですが、Mランドでは三種の神器のひとつ「掃除」、ゲストが自ら自分を磨く「ボランティア」があります。「トイレ掃除に学ぶ会」、「校内掃除に学ぶ会」、「近隣掃除に学ぶ会」、「洗車に学ぶ会」があります。各定員は八名ですが、越えた時でも可能な限り対応し、朝七時から約一時間、インストラクターと一緒に「心磨

き」に取り組んでいただいています。こころぎとして参加するゲストの顔は、とても明るく私たちに計り知れない元気を与えてくれています。

掃除の前に「集中する」、「道具を大切に扱う」ことをお話しています。どの方も一所懸命に掃除をしてくださいますが、この大学生のお二人は磨き方を説明したあとトイレに戻ってきますと、便器に近づき黙々と磨かれていく姿に思わず、「おっ!」。決してめずらしいことではありませんが、その「一所懸命さ」を皆さんにもご覧いただくためにシャッターをきりました。



黙々と便器に向かわれるお二人

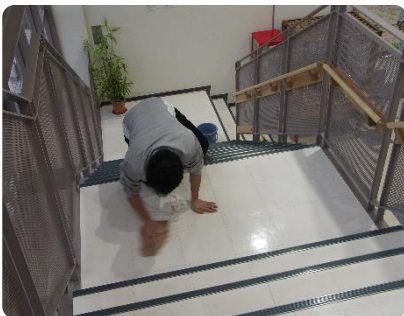
また、入所翌日から毎朝参加されるゲストも珍しくありません。そのお一人、摂南大学からお越しの笠間祐一郎様をご紹介します。人柄がそのまま掃除の仕方に表れるような丁寧な掃除を

されます。そんな笠間様に「どうして毎日参加してくるのですか?」とお伺いしたところ、想いを書いていたことになりました。

私が最初このボランティアに参加しようと思ったのは、一人でMランドに来て緊張と不安な気持ちをなくすために、また、教習所の雰囲気慣れるようにと思ったのがきっかけでした。掃除は本館の掃除機かけや床磨きをしています。見るのとやるのでは大違いで思ったより大変です。でも、合宿の中で掃除をして知り合えたゲストやインストラクターに明るいあいさつをされると、「がんばろう!」と思うのと同時に、今日も気持ちよく迎えられていることを実感しています。

また、ボランティアをしていると自分の中でも変化があります。ロビーで食事をしている時でも汚さないように気を付けるようになりました。技能教習でも「安全で思いやりのある運転をしよう」と思ったら、普段の生活からそういうことを心がけていないといけない」とインストラクターからいわれたことも一因です。ただ自動車を走らせ

るのではなく、運転はもちろんのこと掃除でも目配り気配りの大切さが分かりました。ボランティアを通して教習や生活の中で意識している、卒業する時には思いやりのあるドライバーになれるようにしたいと思います。



毎朝、掃除機かけや床磨きがんばる笠間様

このように笠間様も掃除から思わぬ気付きをされています。掃除が好きで友人、友人に誘われてくる人、買い物・洗濯・温泉・ミロでも使えるMポイントを貯めるために来る人、参加理由はそれぞれでも大事な学びをされているようです。

## 今月のありがとうカード

### トイレ掃除に学ぶ会へ

最初に想像していたのはまったく違い、便器の中の水を再利用したり、素手で便器を磨いたり驚くことばかりでしたが、掃除だけではなくこれから社会に出るにあたって、大切な心構え「謙虚さ」も教えていただきました。これからも大切な気持ちを忘れずがんばります!

東野 茜 様

### トイレ掃除に学ぶ会へ

今日は、トイレ掃除のボランティアに参加して、今まで自分がいかに水を無駄づかいしていたのかが分かりました。水に対しての感覚が麻痺していたことに気がきました。掃除も「汚いところにさわりたいくないなあ、ショックだなあ」と思ったのですが、汚していたのは自分たちだし、みんなで気をつければキレイさを保てるんだらうなと思えました。掃除だけでなく、謙虚さなども学ぶことができ、本当に心の部分も学べる場所だなと思えました。これからは丁寧に掃除する、道具を大切に使う、資源を大切にしたいと思っています。

島田 朋果 様

## 編集後記

先日、カメラを手にになりMランド内を撮影する女性が…。よく見ると一月に卒業されたゲストのお二人で、「インストラクターの顔を見に来ました」とのこと。約半日過ごされたのち、「就職すると、なかなか来ることができないので来月も来ますね」と笑顔のお二人をお見送りしました。

この時期、全国から多くのゲストをお迎えしておりますが、ゲスト一人ひとりとの関わりを忘れてはなりません。卒業生に再び訪ねて来ていただける教習所である幸せを、あらためて感じさせていただきました。(徹)

## 『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

3/8(日) 八上小学校 東トイレ  
(Am7:00~8:00)

3/22(日) 篠山中学校 運動場トイレ  
(Am7:00~8:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。